



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

資料提供

令和7年10月17日

所 属：ため池・農地防災担当
担 当 者：中村
内 線：3659
直通電話：082-513-3655

ため池の全国フォーラムを広島県で初開催 「2025ため池フォーラム in ひろしま」

＜ フォーラム：10月23日（木）JMS アステールプラザ大ホール ＞

今回で27回目を迎える「全国ため池フォーラム」を、広島県で初めて開催します。

本フォーラムは、「安全・安心、持続可能な農村地域のため池」をテーマに、近年の農業用ため池を取り巻く環境が変化していく中、ため池の「安全性」を確保しつつ、「安心」して暮らせる地域づくりを進め、次世代へ「持続可能」な形で受け継いでいけるよう、全国に発信し、交流を通じて、課題解決に向けた知見を深めることを目的としています。

つきましては、ご多用な折とは存じますが、ご取材下さいますようお願いいたします。



1 開催日時

10月23日（木）14：00～17：15 JMS アステールプラザ大ホール
（広島市中区加古町 4-17）

2 概要

○実施主体：広島県、広島県土地改良事業団体連合会

○出席者：約600名

○内容：詳細は別添プログラムのとおり

▽特別講演「知らないで損する！天気と防災のコツ」

オフィス気象キャスター（株） 気象予報士 ^{きし まゆみ} 岸 真弓

▽基調講演「土砂災害防止機能も備えたため池への期待」

広島大学 名誉教授 ^{かいぼり まさひろ} 海堀 正博

▽事例発表4団体（土地改良測量設計技術協会、広島県ため池支援センター他）

3 取材について

- 取材は、10月21日（火）17時までに事前の申込が必要です。
（別紙「取材申込票」を提出してください。）。
- ぶら下がり取材の対応は予定しておりません。



『取材申込票』

広島県農林水産局ため池・農地防災担当
担当 蜂谷・花岡・溝上 行
電子メール：nounouki@pref.hiroshima.lg.jp

「2025ため池フォーラム in ひろしま」

< フォーラム：10月23日（木）JMS アステールプラザ大ホール >

お手数ですが、下記必要情報をご記入の上、10月21日（火）17時までに、メールでご返信くださいますようお願い申し上げます。

貴社名	
貴紙・誌名／部署	/
ご芳名	
TEL	/
携帯電話番号	
撮影の有無	☐ 有 <スチール（ ）台、ムービーカメラ（ ）台> ☐ 無

【特記事項】

- ・ 本返信用紙にご記入頂いた個人情報は、個人情報保護法の主旨に照らして、適切かつ慎重に取り扱わせて頂きます。
- ・ なお、携帯電話番号につきましては、中止の際の連絡に使用いたしますので、当日、連絡のつく番号をご記入ください。
- ・ 取材当日は13時45分までに会場受付で記者証（社員証）を御提示いただいた上で受付を済ませ、会場にお入りください。
- ・ 取材に当たっては、自社腕章を着用してください。
- ・ 駐車場代等の移動費は、各社でのご負担にてご了承ください。

2025ため池フォーラム



ひろしま

安全・安心

Safe

Secure

持続可能な農村地域のため池

写真：光林寺池（福山市）

令和7年 **10月23日** 木
14:00～17:15

フォーラム

会場 JMSアステールプラザ

※参加無料

令和7年 **10月24日** 金
9:00～17:00

現地
見学会

①小野池（東広島市）
②春日池（福山市）

※有料

主催 広島県、広島県土地改良事業団体連合会

後援 農林水産省、全国土地改良事業団体連合会、全国ため池等整備事業推進協議会、
全国農村振興技術連盟、(公社)土地改良測量設計技術協会、(一社)広島県建設工業協会、
広島県建設業協会連合会、(一社)広島県測量設計業協会





memo

A large, empty white rectangular area with rounded corners, intended for writing a memo.

広島県には、先人たちが築き上げてきた多くのため池が存在し、長年にわたり農業用水の確保や地域の暮らしを支える重要な役割を果たしてきました。一方、農業を取り巻く環境は大きく変化しており、農業用ため池の利用者の減少と高齢化の進行により、管理が行き届かなくなるなどの問題も顕在化しています。さらには、農業用ため池の下流域の開発と混住化が進む中で、非農家も含めて防災・減災対策を考える必要性も高まっています。

こうした状況の中、私たちには、ため池の「安全性」を確保しつつ、「安心」して暮らせる地域づくりを進め、次の世代へと「持続可能」な形で受け継いでいく責任があります。

ため池が未来の農村地域においても価値ある資源として活かされ続けるために——。関係者が一堂に会し、課題解決に向けた知見を深める機会としていきます。

1日目

令和7年10月23日(木)

フォーラム

14:00～17:15 場所/JMSアステールプラザ〈大ホール〉

(広島市中区加古町4-17)

- | | | | |
|-------|---|---------|---|
| 14:00 | ● | 開会の辞 | 広島県農林水産局長 向井 雅史 |
| | | 開会挨拶 | 広島県副知事 山根 健嗣 |
| | | 来賓挨拶 | 農林水産省農村振興局整備部防災課 課長 中藤 直孝
全国土地改良事業団体連合会 会長 二階 俊博(代理:主任研究員 二神 健次郎)
広島県議会 副議長 山下 智之 |
| | | 来賓紹介 | |
| 14:20 | | 情報提供 | 全国ため池等整備事業推進協議会 副会長 進藤 金日子 |
| 14:40 | | 特別講演 | 「知らないと損する!天気と防災のコツ」
オフィス気象キャスター(株) 気象予報士 岸 真弓 |
| 15:10 | | ～休憩～ | |
| 15:20 | | 基調講演 | 「土砂災害防止機能も備えたため池への期待」
広島大学 名誉教授 海堀 正博 |
| 15:50 | | 情勢報告 | 「農業用ため池の防災・減災対策について」
農林水産省農村振興局整備部防災課 課長補佐 浦田 憲 |
| 16:10 | | 事例発表① | 「広島県のため池総合対策について」
広島県農林水産局ため池・農地防災担当 課長 中村 博 |
| | | 事例発表② | 「広島県ため池支援センターの取組」
広島県ため池支援センター長 小谷 太志 |
| | | 事例発表③ | 「ため池防災における現状と保護・駆除対応について」
広島県土地改良事業団体連合会 環境専門監 秋山 浩三 |
| | | 事例発表④ | 「簡易手法を用いた、ため池洪水量算定と防災機能算定手法の紹介」
(公社)土地改良測量設計技術協会 客員フェロー 千原 英司 |
| 17:10 | | 次回開催県挨拶 | 岐阜県農政部 次長 若山 幸人 |
| 17:15 | ● | 閉会の辞 | 広島県農林水産局 農林基盤整備担当部長 楨原 敏幸 |

交流会

18:00～20:00 場所/広島市文化交流会館 銀河

(広島市中区加古町3-3)

特別講演

「知らないと損する！天気と防災のコツ」

オフィス気象キャスター株式会社 気象予報士 岸 真弓

【講演者の経歴】

群馬県出身。学習院大学文学部卒業。気象予報士となり、日本気象協会九州支社（福岡）で気象予測・解説業務に就く。独立後、2014年に広島へ、RCC中国放送の気象キャスターを2024年3月まで10年間務める。2014年の広島豪雨、2018年の西日本豪雨を伝えた経験から、命と生活を守るわかりやすい情報を目指している。国土交通大臣委嘱の気象防災アドバイザー。防災士。地球温暖化や防災についての講演多数。



基調講演

「土砂災害防止機能も備えたため池への期待」

広島大学 名誉教授 海堀 正博

これまで何度か豪雨による土砂災害調査をする機会があり、そのたびに、ため池に土石流が入り込んだ形で停止しているものをあちこちで見えた。そのことをかつて、あるシンポジウムで報告した際に、ため池が土石流を停止させているという見方は危険だ、という指摘を受けた。確かに、広島県でも2018年（平成30年）7月豪雨を受けて、福山市のある地域ではため池が決壊して下流の人家に土石流が流れ込み女の子が犠牲になる事例が起きた。また、その前年の7月にも九州北部豪雨で発生した土石流が福岡県朝倉市のある居住エリアの上流側にあったため池を決壊させ、結果として大きな土石流となって家々を襲い多くの犠牲者が出る災害も発生している。

一方で、2021年（令和3年）8月には数日にわたる大雨が原因で発生した土石流を最後はため池が停止させたことで、下流にあった居住エリアに破壊力の大きな土石流が入り込まずに済み、土砂災害の規模を極めて小さく抑えることに貢献している。2009年（平成21年）7月にも山口県防府市のあるため池に複数の土石流が流入したが、それらが下流に被害を出すことなくため池内で停止していた事例も印象的だった。

下流側に居住エリアがあり、その上流にため池がある場合、もしそのため池が土砂災害防止機能も有するものになっているなら、ため池利用者だけでなく、下流の居住者にとってもありがたい存在になるのではないだろうか。



写真 2009年（平成21年）7月21日山口県防府市豪雨災害で被災した玉泉ため池 複数の土石流がため池に流入したが、決壊することなく、土石流を停止させ、下流への被害を防いでいた。（2009年7月22日海堀撮影）

情勢報告

「農業用ため池の防災・減災対策について」

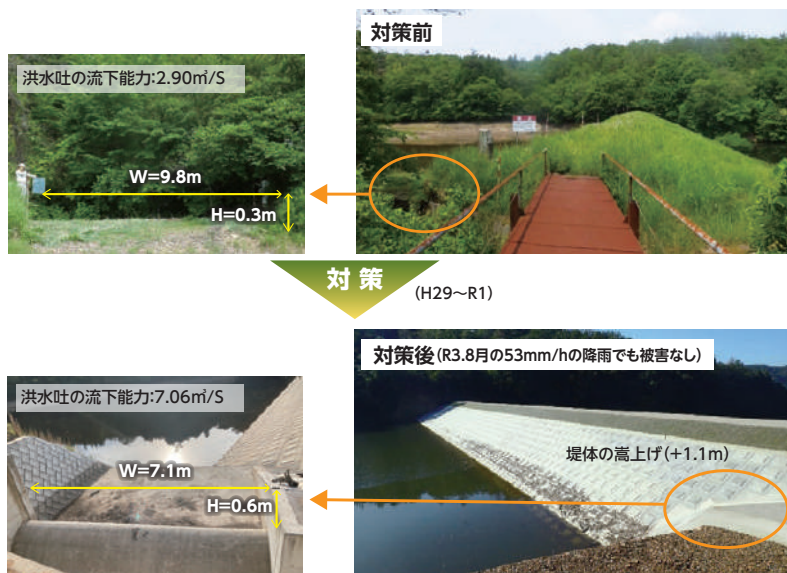
農林水産省農村振興局整備部防災課 課長補佐 浦田 憲

地震や気候変動に起因した豪雨が頻発化・激甚化しており、農業用ため池の防災・減災対策を進めていくことが、ますます重要になっています。

このため、「ため池管理保全法」に基づき、所有者等による届出の実施や管理義務の明確化等を通じた農業用ため池の適切な管理・保全に取り組むとともに、「ため池工事特措法」に基づき、防災工事等の集中的かつ計画的な実施を推進しているところです。

このうち、「ため池工事特措法」については、今年が法施行後5年目となることから、現在、有識者委員会を設置し、法律の施行状況等の点検・検証を行っているところです。

このような近況を踏まえ、農業用ため池の防災・減災対策に関する施策の動向と取組状況について事例を交えて紹介します。



広島県三次市「湯口谷3号池」
（H29～R元）に洪水吐きの流下能力向上及び堤体の高上げを実施）

事例発表

「広島県のため池総合対策について」

広島県農林水産局ため池・農地防災担当 課長 中村 博

広島県内には、全国2位となる、約1万6千箇所(R7.5現在)の農業用ため池があり、県内の農業を支えるとともに、洪水調節、親水空間、動植物の生息の場など、重要な地域資源にもなっています。一方で、多くのため池は、江戸時代以前に築造されたものが多く老朽化が進んでおり、さらには農業者の高齢化・担い手不足等により、ため池の管理が行き届かなくなるなどの問題も顕在化しています。

こうした中、平成30年7月豪雨で県内の多くのため池が被災し、堤体の決壊や損壊等による下流への被害が発生しました。

今回は、ため池による被害の最小化を図るため、県がため池管理者や利用者、市町、国など、関係機関と連携しながら進めている、ソフト・ハード一体となった「ため池総合対策」を紹介します。



平成30年7月豪雨でのため池被災(東広島市)



整備後のため池(大池:三次市)

「広島県ため池支援センターの取組」

広島県ため池支援センター長 小谷 太志

農業用ため池は、水源や安らぎの場として多面的な機能を持つ一方、地震や豪雨による決壊リスクが課題となっています。このため、県や市町は防災情報の発信や補強工事、廃止工事などの対策を進めています。しかし、ため池管理者の高齢化や利用者減少等により、適切に管理することが難しくなっているため池もあります。

こうした状況に対応するため、広島県土地改良事業団体連合会内に「広島県ため池支援センター」を令和3年5月に開設し、防災重点ため池のパトロール、管理者研修及び管理者からの相談に応じています。今回は当センターが取り組んでいる活動や今後の支援内容について紹介します。



ため池/パトロール



ため池管理者研修

「ため池防災における現状と保護・駆除対応について」

広島県土地改良事業団体連合会 環境専門監 秋山 浩三

ため池は、営農利水が主目的となりますが、近年ため池の利用率が低下するなか、管理が行き届かないため池も多く存在しています。また、局所的な豪雨が頻発するなど、ため池に関する被害が多く発生することもあり、改修や廃止などの対応が急務となっています。一方、ため池は水域空間として生物の生息・生育域として重要な役割のある場所でもあります。

広島県では、2019(平成31)年3月配慮すべき事項として、改修はもとより廃止に伴う事業展開を図るうえで、事前に生物調査を実施し、保護・駆除すべき動植物の確認を行い、環境との調和への配慮について取り組みを進めています。

2025(令和7)年3月末現在、動植物調査及び対応地区は、県営・市町単独をあわせ、廃止ため池494地区について実施しています。また、改修ため池についても、順次対応しているところです。



「簡易手法を用いた、ため池洪水量算定と防災機能算定手法の紹介」

(公社)土地改良測量設計技術協会 客員フェロー 千原 英司

我が国では、国土交通省が中心となって、河川改修や防災ダムの建設による洪水被害軽減対策が実施されてきました。一方、近年では、中小流域における洪水災害が多く、その対応として、国、都道府県、市区町村のみならず流域の様々な関係者が協働で取り組む「流域治水」が推進されています。農林水産省では、「農地・農業用水利施設を活用した流域治水の推進」を開始し、小流域に位置するため池の洪水調節機能に注目しています。

しかしながら、その設計・検討作業は複雑で、15万か所といわれるため池への応用には膨大な費用が必要と見込まれます。ここでは、ため池の洪水調節機能に着目し、洪水被害軽減のための簡易計画手法を紹介します。



定期点検に係る現地調査



保全管理に関する
現地意見交換

2日目

令和7年

10月24日

金

現地見学会

安芸コース

このいけ
小野池

- 所在地：広島県東広島市志和町別府しわちやうべっふ
○諸元：堤高…16m
堤頂長…230m
貯水量…57万 m^3

○概要：

昭和14年夏に西日本全域を襲った大干ばつを契機に、昭和20年代に大改修が行われ、元々あった3池を統合して築造された大池です。

地震時における堤体の安定性が確保されていないため、貯水池内の泥土を再利用した押え盛土工法により、令和6年度から工事着手しています。

県内最大規模のため池で、現在改修工事中の『小野池』。酒都・西条の『酒蔵通り』と『海上自衛隊呉史料館』を巡るコース。



備後コース

かすがいけ
春日池

- 所在地：広島県福山市春日町かすがちやう
○諸元：堤高…11.1m
堤頂長…310m
貯水量…59万1千 m^3

○概要：

江戸時代初期に福山藩による大規模な干拓事業に伴い、灌漑用水を確保するために、1643年(寛永20年)に築造された農業用ため池です。高度経済成長期の1961年(昭和36年)には福山市に日本鋼管(現在のJFEスチール)の進出が決定し、それに伴い、春日池の周辺で大規模な土地区画整理事業が行われるとともに、市民の憩いの場として春日池公園が整備されました。

また、流域の治水対策として2004年(平成16年)～2014年(平成26年)に手城川広域基幹河川改修事業により、洪水調整機能を持たせることを目的とした改修工事が行われており、多面的機能を有した重要なため池となっています。

備後三大池の一つで、憩いの場の公園としても親しまれている『春日池』。万葉集にも詠まれた瀬戸内海の景勝地で潮待ちの港として栄えた歴史的な港町『鞆の浦』を巡るコース。



第28回全国ため池フォーラム in ぎふ



開催日：令和8年11月5日（木）・6日（金）

■開催経緯

第1回	1996年	大阪府	第8回	2003年	大分県	第15回	2010年	愛知県	第22回	2018年	兵庫県
第2回	1997年	香川県	第9回	2004年	岡山県	第16回	2012年	岩手県	第23回	2019年	三重県
第3回	1998年	兵庫県	第10回	2005年	宮城県	第17回	2013年	静岡県	第24回	2022年	長野県
第4回	1999年	福岡県	第11回	2006年	兵庫県	第18回	2014年	島根県	第25回	2023年	鳥取県
第5回	2000年	青森県	第12回	2007年	新潟県	第19回	2015年	石川県	第26回	2024年	秋田県
第6回	2001年	山口県	第13回	2008年	大阪府	第20回	2016年	和歌山県	第27回	2025年	広島県
第7回	2002年	千葉県	第14回	2009年	長崎県	第21回	2017年	熊本県	第28回	2026年	岐阜県



2025ため池フォーラム



ひろしま

安全・安心

Safe

Secure

持続可能な農村地域のため池